

**結果分析レポート／
牛乳の放射能汚染に係る「風評」に関する追跡調査**

11. 11. 17



社団法人 日本酪農乳業協会

調査の概要

10月時点

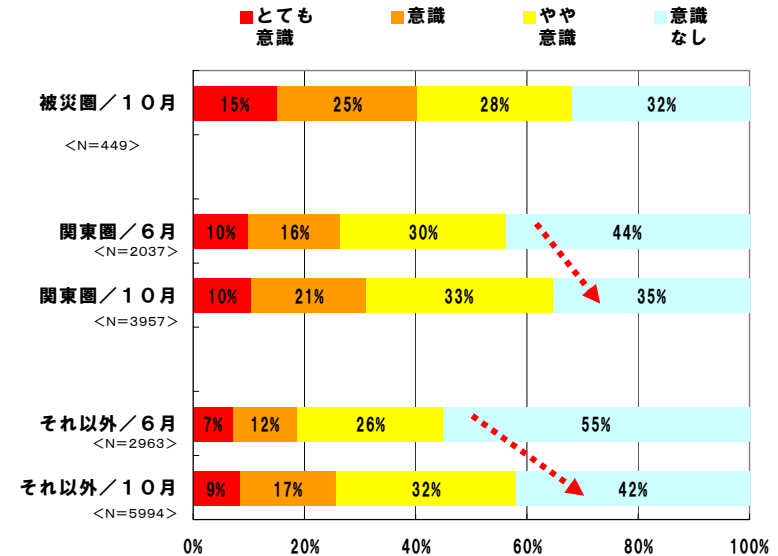
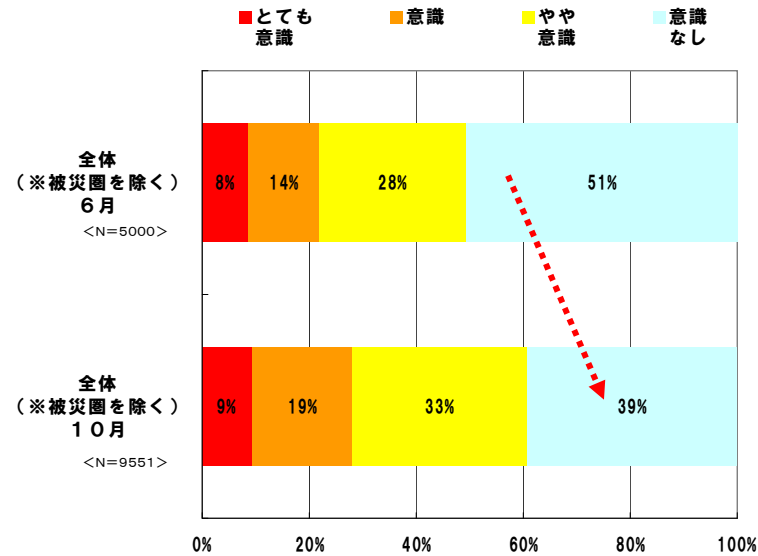
- 期間 11.10.21(金)-23(日)
- サンプル数 10000ss
- エリア 全国(被災県を含む)
- 対象者 10代~60代の男女
- 調査手法 FAを多く含むネット調査

6月時点

- 期間 11.06.06(月)-08(水)
- サンプル数 5000ss
- エリア 全国(被災県は除く)
- 対象者 10代~60代の男女
- 調査手法 FAを多く含むネット調査

食品の放射能被害に関する風評意識の変遷

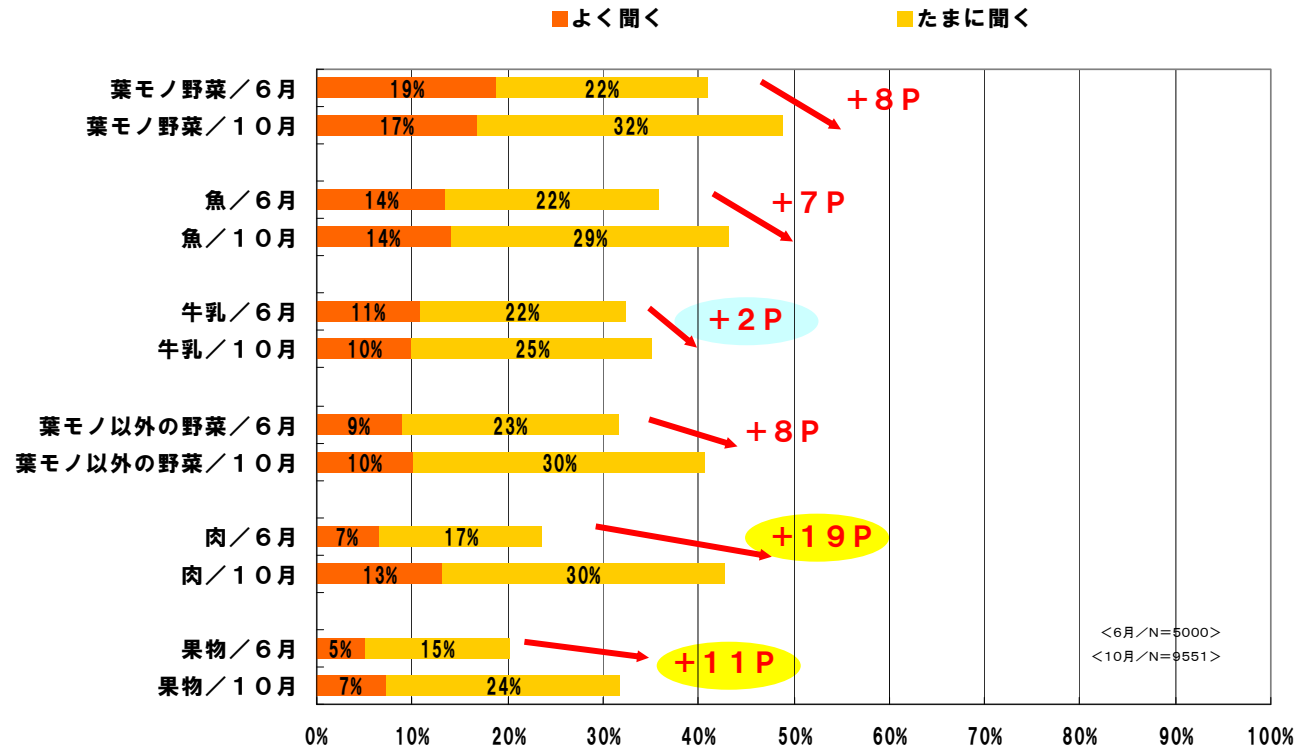
ご自身で購入もしくは飲食する食品や飲料について、現在のあなたは、放射能や放射性物質による「よくない影響」の話題や情報をどれくらい意識していますか。



現在(10月)の食品の放射能被害に関する風評意識は6月から比べて、確かに強まっています、特に「関東圏+被災圏」以外の原発事故現場から離れた場所での意識変化が大きい。また、被災圏(岩手、宮城、福島、茨城)の意識は他のエリアよりも強い。

各食品の放射能被害に関する風評意識の変遷(被災圏を除く)

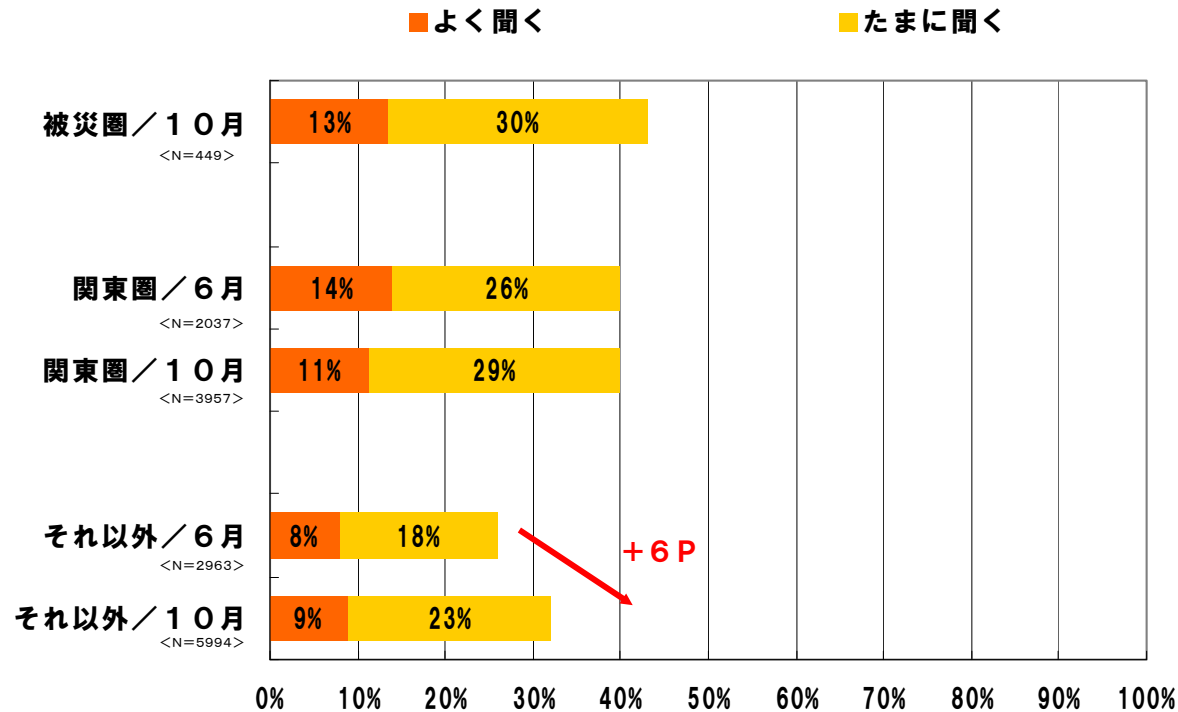
以下にあげたいいくつかの食品について、現在のあなたは放射能や放射性物質による「よくない影響」の話題や情報をどれくらい聞くことができますか。



各食品別の放射能被害に関する風評意識の変遷を見ると、どの食品も6月から10月にかけて強まりを見せている。
 ただし、その強まり具合には明確に差があって、肉と果物の強まり具合は顕著に高く、その一方で牛乳の強まり具合は顕著に低い。

牛乳の放射能被害に関する風評意識の変遷と現状(地域別)

以下にあげたいいくつかの食品(牛乳)について、現在のあなたは放射能や放射性物質による「よくない影響」の話題や情報をどれくらい聞くことができますか。

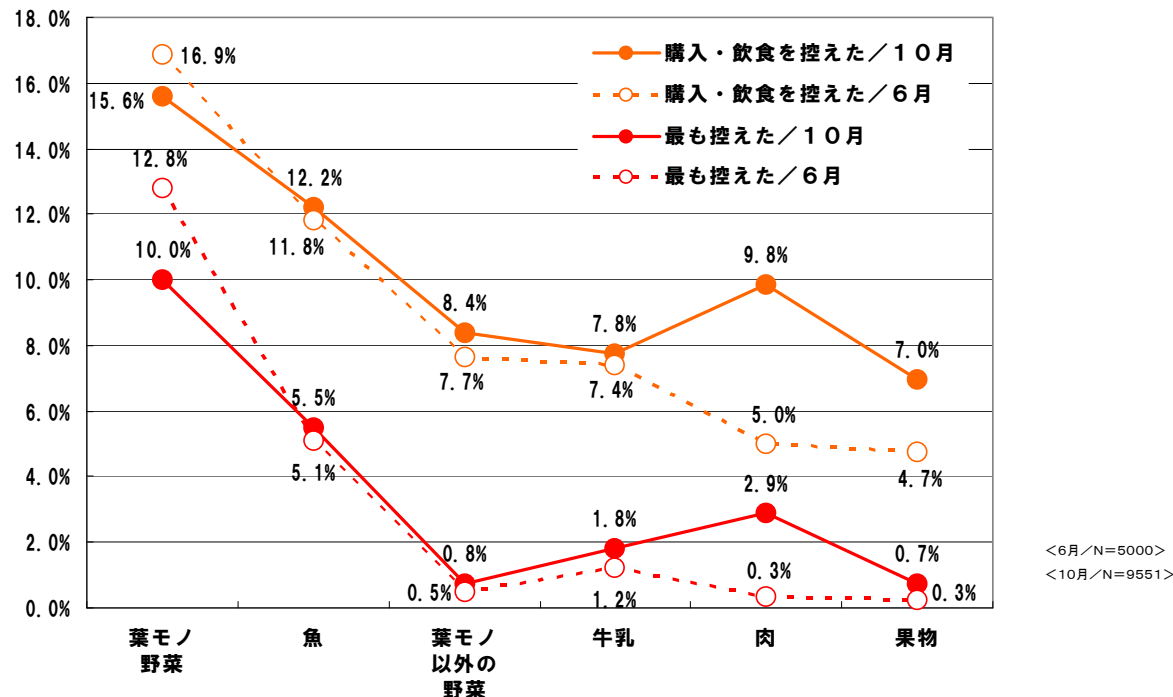


牛乳の放射能被害に関する風評意識の変遷と現状をエリア別に見ると、関東圏においては意識の強まりは見られず、「関東圏+被災圏」以外で意識が強まっていることがわかる。また、被災圏での牛乳の放射能被害に関する風評意識は他のエリアよりも強い。

各食品の放射能被害に関する風評意識による影響の変遷(被災圏を除く)

以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが購入・飲食を控えることがあるものを、すべてお知らせください

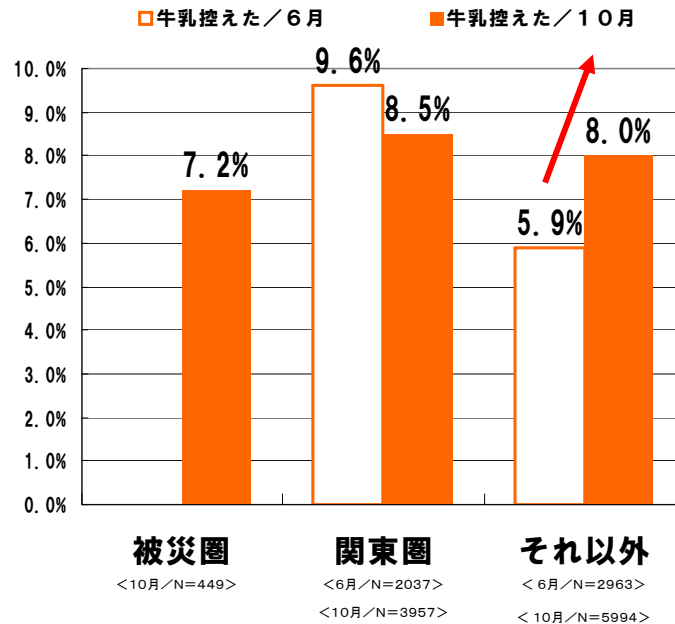
以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが最も強く購入・飲食を控えているものをお知らせください



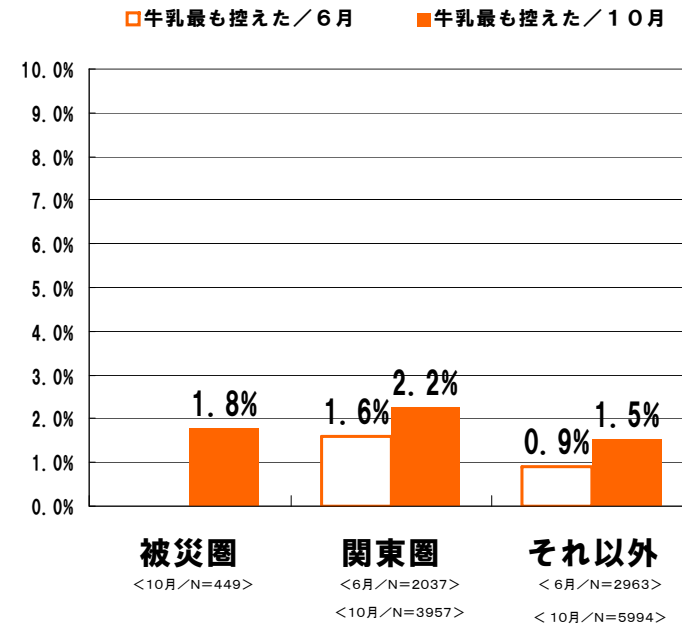
放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、購入・飲食を控えた経験の変遷を各食品別に見ると、肉と果物(特に肉)において控えた経験の割合が増えている。ただし、牛乳も含めて、それ以外の食品については明確な高まりは見られず、葉モノ野菜ではむしろ減っている。

牛乳の放射能被害に関する風評意識による影響の変遷と現状(地域別)

以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが購入・飲食を控えることがあるものを、すべてお知らせください



以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが最も強く購入・飲食を控えているものをお知らせください



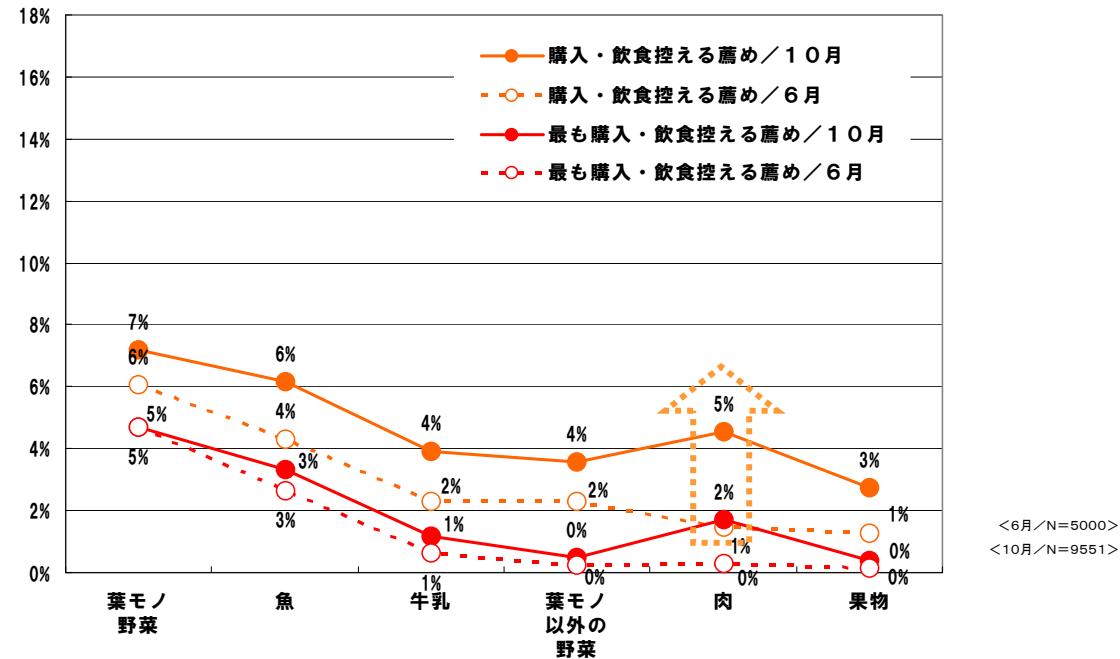
放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、牛乳の購入・飲食を控えた経験の変遷を地域別に見ると、唯一、控えた経験の全体について「関東圏+被災圏」以外の経験率が明確に増えているが、被災圏と関東圏には目立った増加は見られない。

また被災圏においては、風評被害の意識が他のエリアよりも明確に高いのに、実際に購入・飲食を控えた経験はむしろ低めにおさまっているのが特徴的。

各食品の放射能被害に関する風評意識による影響関与の変遷(被災圏を除く)

以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが近親者や友人に購入・飲食を控えるように勧めたことがあるものを、すべてお知らせください

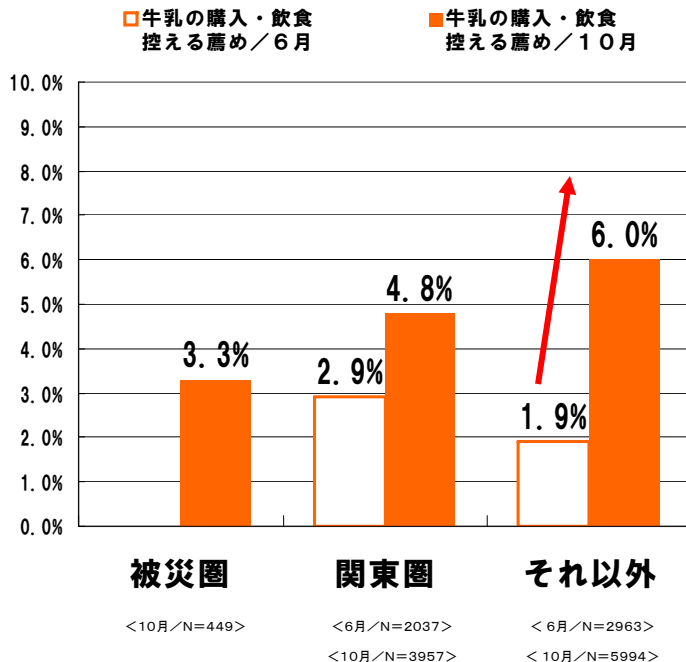
以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが近親者や友人に購入・飲食を控えるように最も強く勧めたものをお知らせください



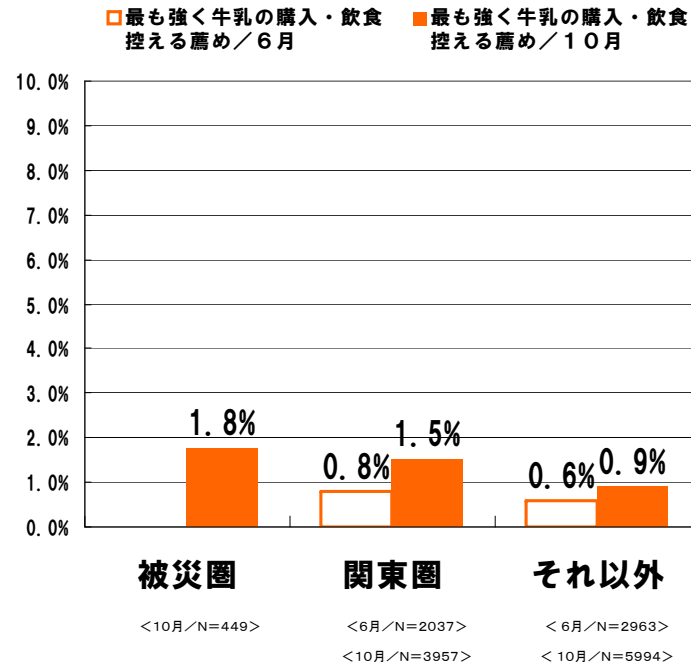
放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、購入・飲食を控えるように周囲の誰かに勧めた経験の変遷を各食品別に見ると、そのような経験は多くの食品について微増していて、特に肉に関しては増加が顕著である。

牛乳の放射能被害に関する風評意識による影響関与の変遷と現状(地域別)

以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが近親者や友人に購入・飲食を控えるように勧めたことがあるものを、すべてお知らせください



以下にあげた食品の中から、放射能や放射性物質による「よくない影響」を心配して、現在のあなたが近親者や友人に購入・飲食を控えるように最も強く勧めたものをお知らせください



放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、牛乳の購入・飲食を控えるよう周囲に勧めた経験の変遷を地域別に見ると経験率は増えていて、特に「関東圏+被災圏」以外での増加が目立つ。
 また被災圏においては、風評被害の意識が他のエリアよりも明確に高いのに、購入・飲食を控えるよう周囲に勧めた経験はむしろ低くおさまっているのが特徴的。

ここまでのまとめ

現在(10月)の食品の放射能被害に関する風評意識は6月から比べて、確かに強まっていて、特に「関東圏+被災圏」以外の原発事故現場から離れた場所での意識変化が大きい。また、被災圏(岩手、宮城、福島、茨城)の意識は他のエリアよりも強い。各食品別の放射能被害に関する風評意識の変遷を見ると、どの食品も6月から10月にかけて強まりを見せている。ただし、その強まり具合には明確に差があって、肉と果物の強まり具合は顕著に高く、その一方で牛乳の強まり具合は顕著に低い。

牛乳の放射能被害に関する風評意識の変遷と現状をエリア別に見ると、関東圏においては意識の強まりは見られず、「関東圏+被災圏」以外で意識が強まっていることがわかる。また、被災圏での牛乳の放射能被害に関する風評意識は他のエリアよりも強い。

放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、購入・飲食を控えた経験の変遷を各食品別に見ると、肉と果物(特に肉)において控えた経験の割合が増えている。ただし、牛乳も含めて、それ以外の食品については明確な高まりは見られず、葉モノ野菜ではむしろ減っている。

放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、牛乳の購入・飲食を控えた経験の変遷を地域別に見ると、唯一、控えた経験の全体について「関東圏+被災圏」以外の経験率が明確に増えているが、それ以外には目立った増加は見られない。また被災圏においては、風評被害の意識が他のエリアよりも明確に高いのに、実際に購入・飲食を控えた経験はむしろ低めにおさまっているのが特徴的。

放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、購入・飲食を控えるように周囲の誰かに勧めた経験の変遷を各食品別に見ると、そのような経験は多くの食品について微増していて、特に肉に関しては増加が顕著である。

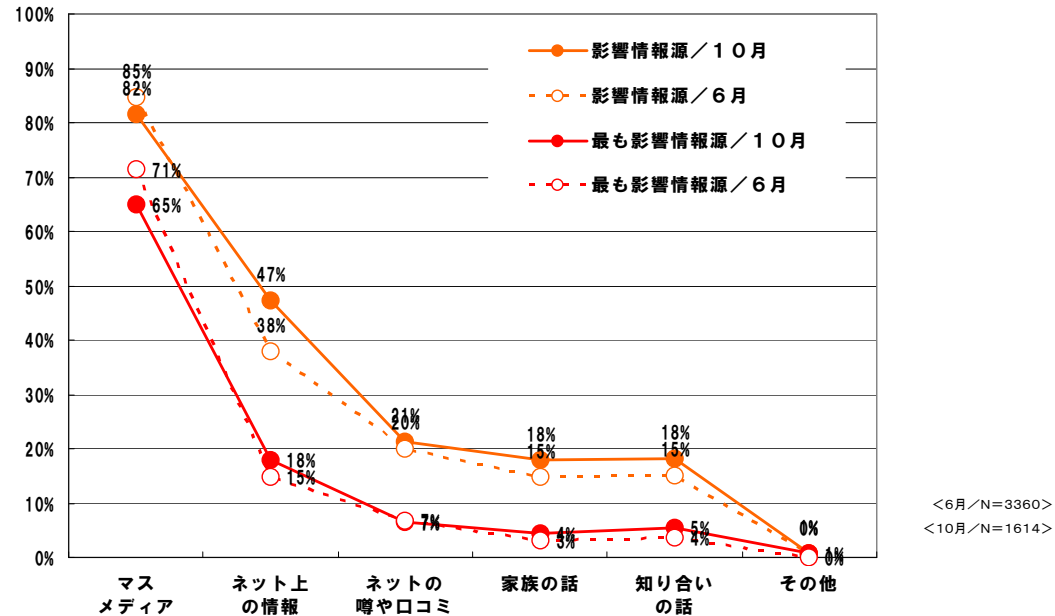
放射能被害に関する風評意識の影響を受けて、牛乳の購入・飲食を控えるよう周囲に勧めた経験の変遷を地域別に見ると経験率は増えていて、特に「関東圏+被災圏」以外での増加が目立つ。また被災圏においては、風評被害の意識が他のエリアよりも明確に高いのに、購入・飲食を控えるよう周囲に勧めた経験はむしろ低くおさまっているのが特徴的。

他の食品に比べれば牛乳に関する放射能被害の意識と、それによる影響は少ないものの特に被災圏から遠ざかる「関東圏+被災圏」以外エリアでの意識と影響は特徴的に高まっている(その原因がどこにあるのかは、次ページ以降で更に究明する)。

牛乳の放射能被害に関する風評の情報源の変遷(被災圏を除く)

現在のあなたは、牛乳に関して、放射能や放射性物質にまつわる話題や情報を、
どのようなところで目や耳にしますか

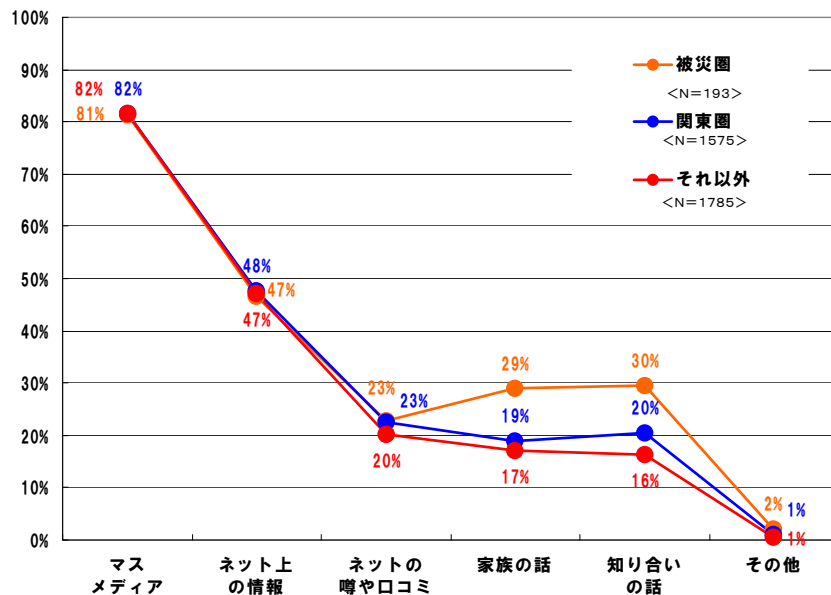
現在のあなたが、牛乳に関して目や耳にする、放射能や放射性物質の話題や情報のなかで、
最も強く影響を受けるものをお知らせください。



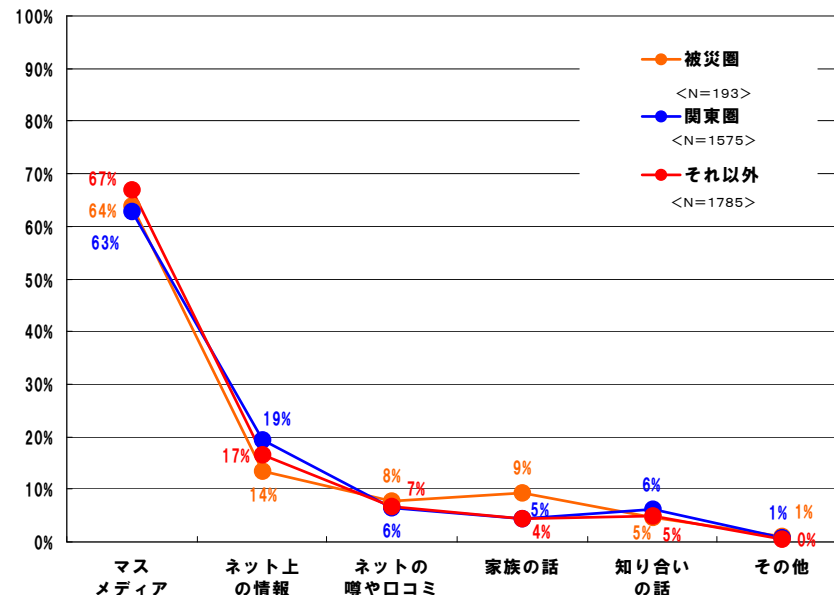
放射能被害に関する風評を意識している人が、そういった情報に接するシーンをみると、「マスメディア」の割合がわずかに減り、逆に「ネット上の情報」がわずかに増えている。

牛乳の放射能被害に関する風評の情報源、地域別の現状

現在のあなたは、牛乳に関して、放射能や放射性物質にまつわる話題や情報を、どのようなところで目や耳にしますか



現在のあなたが、牛乳に関して目や耳にする、放射能や放射性物質の話題や情報のなかで、最も強く影響を受けるものをお知らせください。



放射能被害に関する風評を意識している人が、そういった情報に接するシーンを地域別にみると、被災圏のひとは家族や知り合いといった近親者との会話の中でそういった情報に接しているひが多い。

牛乳の放射能被害に関する風評の情報源、地域別／影響の有無別の現状

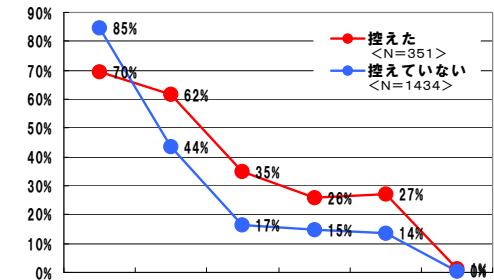
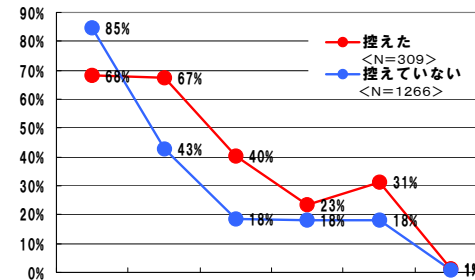
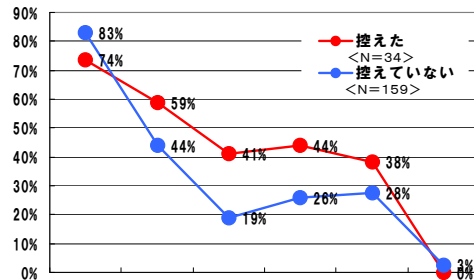
現在のあなたは、牛乳に関して、放射能や放射性物質にまつわる話題や情報を、どのようなところで目や耳にしますか

被災圏

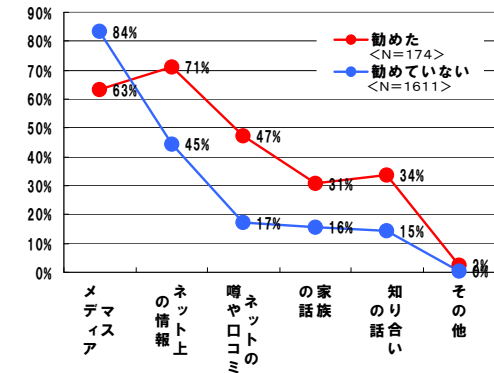
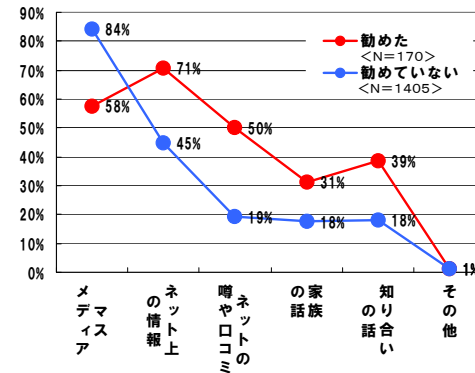
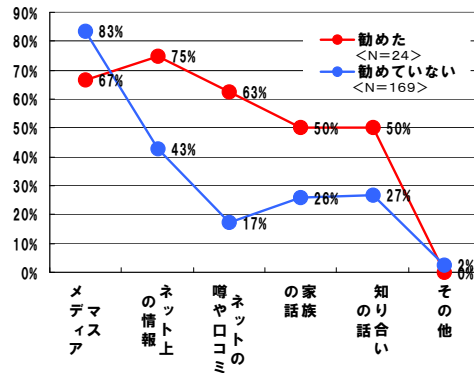
関東圏

それ以外

購入・飲食
控えた
VS
控えて
いない



購入・飲食
控えるよう
勧めた
VS
勧めて
いない



放射能被害に関する風評の影響を受けて、牛乳の購入・飲食を控えたり、牛乳の購入・飲食を控えるように勧めたりするひとは、どのエリアにおいても、マスメディア以外の情報接触が特徴的に強い。

「ネット上のニュースや情報」からもっとも影響を受けた人が聞いた内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">被災圏</p>	<p>10代女 宮城県 20代男 福島県 20代男 岩手県 30代女 岩手県 30代男 福島県 40代女 茨城県 40代男 茨城県 50代女 宮城県 50代男 茨城県</p>	<p>福島の野菜はすべてもうダメ近隣県の産物も無理 チェルノブイリでは牛乳を飲んだ子供の多くから甲状腺被爆が確認されたという内容 市販の牛乳の放射線濃度を測定したところ非常に高い数値が出たという情報 わらの危険性 乳牛に蓄積した放射線物質が牛乳に入る福島沿岸を回避した魚は放射線物質が検査すると出る 個人やグループで独自に放射線量を計り公開しているサイトがあり、公式発表よりも信用できる 食物連鎖の関係から放射能が濃縮されている 基準値以上の東日本産牛乳を、西日本に送り、基準値以下の牛乳と混ぜて出荷している。 日本での放射能値食料制限500ベクレルだが、ドイツでは大人8ベクレルで、子供は4ベクレルが基本。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">関東圏</p>	<p>10代女 東京都 10代男 千葉県 20代女 埼玉県 20代男 埼玉県 30代女 東京都 30代男 埼玉県 40代女 東京都 40代男 栃木県 50代女 千葉県 50代男 東京都 60代女 神奈川県 60代男 埼玉県</p>	<p>乳牛に食べさせていた牧草に放射能が規定以上含まれていた 高レベルの汚染食品が市場に出回っていた 武田邦彦さんの書籍・ニュース・テレビ・HPで言われてること農家は安全を売りに商品を売り出していたが、今では生活のために子どもが口にするかもしれないリスクがあるのに平然と野菜を出荷する。国が農家に対して保障をすれば済む話だが、まったくしないので、結果的に生活のために汚染野菜が広まる結果、子どもが口にするリスクが高まる。内部被爆が広まる 大手マスコミと個人でやっている上杉隆のようなジャーナリストと知っていることが食い違いすぎてマスメディアというものが信用ならない記者クラブはしばしば叩かれるがこれこそが風評被害を生んでいる原因だと思う 中京大武田教授のサイトをチェックテレビ等マスメディアの情報はまず信じない、裏付けを取る確認をする。一番誤った情報源である事を認識した 福島の牛を他の地域の牧場が受け入れて産地が異なる表示とされていたり、福島の牛が肉骨粉として全国に流通しているなど。 政府が公開しないのは、ほとんどの出回っている野菜にも影響があるので、パニックにならないようにしているため 放射能が付着した餌を牛が食べたことにより牛が体内被曝をして、その牛からでたミルクが汚染度が高かった 大学の教授のブログなどで政府がまともな情報を出さない、または基準を高く変えているので安全宣言を信用するのは危険だと言っている。自分はこういう情報を得て自分なりに多くの情報から精査し判断して買い物をしている。 知人やインターネットを通じた情報によると、マスコミや政府からの情報は信用できないし真実を伝えないようにしているという発言が多いです。特に今後も将来的にも地下水や海洋汚染は深刻なことになるといことです。 関東のあちこちで放射能の反応があるらしい 国や自治体、TV、マスコミの流すデータや情報は全て嘘なので福島県、それに隣接する県のもものは極力購入しないようにするのがベターであることを識者やNGO、外部検査機関が述べている。とにかく自己防衛するしかないということ。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">それ以外</p>	<p>10代女 兵庫県 10代男 大阪府 20代女 北海道 20代男 静岡県 30代女 滋賀県 30代男 福岡県 40代女 京都府 40代男 京都府 50代女 大阪府 50代男 北海道 60代女 福井県 60代男 奈良県</p>	<p>食物連鎖によって放射性物質がどんどん伝わっていくこと 他の地域に移動させた乳牛も移動が遅かったので影響を受けている。混ぜられていても産地はわからない。 中部大学 武田邦彦教授のブログで「牛乳にはセシウムが入りやすいので控えるように」という内容。噂では「福島などセシウム濃度が高い原乳と、他産地の原乳を混ぜてセシウムが規制値を下回ったものが売られている」という情報も読んだ。 牛乳の独自検査を行っていないということ。ハワイの牛乳からストロンチウムが出たというニュース。 震災直後に東北ナンバーのトラックが名神高速の滋賀エリアで事故を起こして、高速道路の上に生乳をぶちまけていたその牛乳は関西方面のメーカーにもっていく最中だったとニュースで言っていた被災地の生乳と、他の地域の生乳と混ぜて放射能汚染度をさげて販売してのようなことも聞きました 明治は、製造工場がわからないようにパックから固有番号を消したとも聞きました。 牛乳販売会社は、いまだに放射能汚染数値を公表していない。東日本の牛乳が大量に西日本へ移動して、ミックスされ販売されている。牛乳を原材料とする食品は、もっとヤバイので、同じ銘柄のものを食べ続けられないほうがいい。 武田先生 汚染された、福島県（他県も含む茨城など）の牛の乳を混ぜて、国の暫定基準値以下にして売っている。細かに、放射線量の調査をしていない。又、公表する事は全く無い。 明治おいしい 牛乳から放射性物質が確認されたとの情報を見たのですが・・・ テレビや新聞が報道しない放射能汚染の情報 政府の情報では500ベクレルの基準だが諸外国と比べて非常に高い 中部大学 武田教授のブログ</p>

「ネット上の噂や口コミ」からもっとも影響を受けた人が聞いた内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">被災圏</p>	<p>10代女 宮城県 10代女 茨城県 20代男 茨城県 40代男 福島県 50代女 茨城県 50代女 茨城県</p>	<p>放射性セシウムがでてい草を食べた乳牛のものからセシウムがでていこと。 牛乳は牛が被曝すると牛乳にも影響が出るから危ない 牛の食べるエサから牛乳に放射性物質が濃縮される 基準値を50倍に上げて安全だと言うのは殺人的処置。 福島の牛乳が全国にばらまかれて、地元の牛乳に混ぜられている。国民にひとしく被ばくさせる。 神奈川県では給食にセシウム入りの牛乳が出たので、他な県でも出ているかも。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">関東圏</p>	<p>10代女 神奈川県 10代男 埼玉県 20代女 千葉県 20代男 東京都 30代女 東京都 30代男 千葉県 40代女 東京都 40代男 千葉県 50代女 神奈川県 50代男 千葉県 60代男 東京都</p>	<p>牛乳には特に放射性物質が含まれている 牛が被曝しているから牛乳も危ないという噂？話 牛乳は安心できるであろう産地のものを買っても、汚染されてるものとブレンドされていたり、汚染された地域から移動してきた牛の牛乳だったりする場合があるらしい。 ブレンド 安全な原乳に放射性物質で汚染された乳牛の原乳を混ぜて薄めて流通させろという棄民政府の通達で消費者は総被爆から逃れられなくなっている 産地の偽装問題で、国産のモノ全体が怪しい よくは覚えていませんが、関西方面で事故を起こしたトラックの積み荷の中身が、東北方面の源乳で、関西の工場加工される予定だったとの内容だったと思います。なるべく北関東、東北方面の牛乳を買わないようにしたり、製造所番号を調べたりして気をつけていたのに、結局色々なところでブレンドされているのか、と思った記憶があります。 某企業の牛乳は北海道産と記載しているが東北の原乳を使用している 線量の高いものはミックスする。下痢を起こす。膀胱炎になる。 乳牛の牧草が汚染されている、汚染圏外でも牧草に放射能がふくまれているので、乳牛に影響が出ている。 牧草が汚染されると牛乳も汚染される。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">それ以外</p>	<p>10代女 青森県 10代男 石川県 20代女 鹿児島県 20代男 高知県 30代男 大阪府 40代女 大阪府 40代男 長崎県 50代女 静岡県 60代女 島根県</p>	<p>関東でもいろんな物質が発見されている 福島産の牛乳が一般に流通している。 掲示板の書き込みに、子供が給食の牛乳を拒否したという話題があった。子供自身も危機感を持ってるんだなと思った。 武田邦彦中部大学教授のブログ 会社に電話できいたら放射能検査はしていないとか、いろんな産地を混ぜているので産地は不明とか・・・そういった情報をブログや掲示板で読みました。 大手のメーカーは福島の生乳を使用している可能性があること。製造固有番号で工場を特定するためのサイト。各メーカーに放射能について問い合わせたときのやりとりに関する書き込み。 セシウムやストロンチウムなどを摂取した場合の有毒性 チーズや牛乳は、肉よりも凝縮されたものなので、濃度が高いから危険と。主に東北北海道で牛が飼育されているので、もろに影響があるはず。 放射能を浴びた牛の牛乳は危ない</p>

「家族の話」からもっとも影響を受けた人が聞いた内容

被災圏	10代女	福島県	県内の野菜や肉は放射能の影響を受けている。周りの人は、家で育てた野菜などを食べている人がたくさんいる。県内の食べ物は県外と比べると安いので、県内の食べ物を買わずに県外のものを買っている人はとても少数。
	20代女	茨城県	牛が食べる飼料に放射線が含まれていると、すぐに牛乳に影響がでる。肉よりすぐに牛乳に影響が出る
	30代女	福島県	乳牛にも放射線がある
	30代男	岩手県	幼稚園でも他の家族の要望で、給食で牛乳を無くされた
	40代男	岩手県	牧草から放射線が検知され牛肉や牛乳が心配になってきた
	40代男	茨城県	放射能に汚染されている
	50代女	宮城県	放射能のことについて書いてある書籍に牛乳はどここの産地も危ないと書いてあった
50代男	宮城県	牧草から放射能が検出され、牛肉も一度出荷停止になったので、当然牛乳も汚染されている可能性が高い。	
関東圏	10代女	東京都	牛自体が結構汚染されていて、牛乳は体内の放射性物質が凝縮されるから、濃度が一気に高くなる
	20代女	栃木県	以前は那須産の牛乳を買っていましたが、福島県に近い地域ということで北海道産の牛乳を買うように薦められました。
	20代男	東京都	牛のえさの牧草に放射性物質が検知されたという情報
	30代女	東京都	メグミルクと明治の牛乳には被曝した牛乳が混入していると聞いた
	30代男	神奈川県	放射性物質が牛が食べた餌などを通して、牛乳に入ってしまう
	40代男	神奈川県	東北地方のものは不安である
	50代女	埼玉県	日光のほうはホットスポットがあるので、栃木県の牛乳はあまりよくないのではないかとのこと。
	50代男	神奈川県	きのこ
60代女	千葉県	政府などの基準はあてにならない	
60代男	神奈川県	関東圏の物は、ちょっと心配がある	
それ以外	10代女	北海道	「北海道の牛乳は割と安全だと思うけど福島の親戚さんはおちおち牛乳も買えないみたいよ」と言われた
	10代男	兵庫県	牛も内部被曝して汚染された牛乳を出す可能性があるなど
	20代女	広島県	実家が千葉なので、東北の食品などは気をつけた方がいいと聞いた。特に肉などは、汚染されたものかわからないように、関西方面に牛や豚を移してから、販売しているかもしれないから、国産は控えている。
	20代男	大阪府	東日本産のものは避けるように言われる
	30代女	岡山県	牛乳はダイオキシンや放射能物質が蓄積する。
	30代男	京都府	最近、保険会社でガン保険をCMなどで放送が少なくなったのは、放射能汚染が広がり、今の子供たちが将来的に放射能によるガン発症が増えるから、そのリスクを回避する為に放送を控えていると聞いた。
	40代女	香川県	国のセシウム基準が甘すぎる
	40代男	大阪府	放射能に汚染された乳牛の話
	50代女	大阪府	野菜を作って売ってる農家の人の話・・・作って売ってる人が放射能が心配で私たちは食べないと話してたとか。。
	50代男	大阪府	福島の野菜は 危険。東北関東も
60代女	岐阜県	東日本の製造元の牛乳は買わないと言われた	
60代男	北海道	子供がよく飲むものだから気お付けなければネ	

「知り合いの話」からもっとも影響を受けた人が聞いた内容

被災圏

30代女	茨城県	研究者のブログ内容に福島からできるだけ離れた所の物を食べるように書いてあった。
30代男	福島県	行政の放射能測定なんてあてにならない
40代男	岩手県	ホットスポットが県内にあること
40代男	宮城県	放射能が含まれている

関東圏

20代女	千葉県	具体的な数値を出されて食べないように説得される。
20代男	東京都	牛乳に含まれるカルシウムなどは放射性物質と近い形をしている為、比較的スムーズに体内に取り込まれてしまう(真偽不明)
30代女	神奈川県	東日本を産地としている牛乳はセシウム量が増えているから飲まない方がいいという話し。
30代男	東京都	牛乳はチェルノブイリで大きな影響があったということ
40代女	神奈川県	牛乳は大きいメーカーのものは、量を確保しなくてはいけないので、いろんな産地のものが混ぜられている。
40代男	東京都	放射性物質の付いた草を食べて育った牛の牛乳が無害であるはずはない。
50代女	千葉県	牛乳の生産地はなるべく関西より西の製品を選んだほうが良いと知人が話していました。牛の餌である、わらの放射能の汚染が心配なのは確かです。
50代男	東京都	乳業メーカーは測定はしてもそれを公表しないことで、汚染牛乳を(汚染牛乳も売る事ができるようにして)守っている。
60代女	埼玉県	群馬県で兼業農家をしている人が干し草を見てこれを牛がたべて放射能も体に入るといって怖くなった。
60代男	東京都	東京で売られている牛乳は、原乳が東北で放射能が入っていない牛乳はない。北海道産なら心配ない。

それ以外

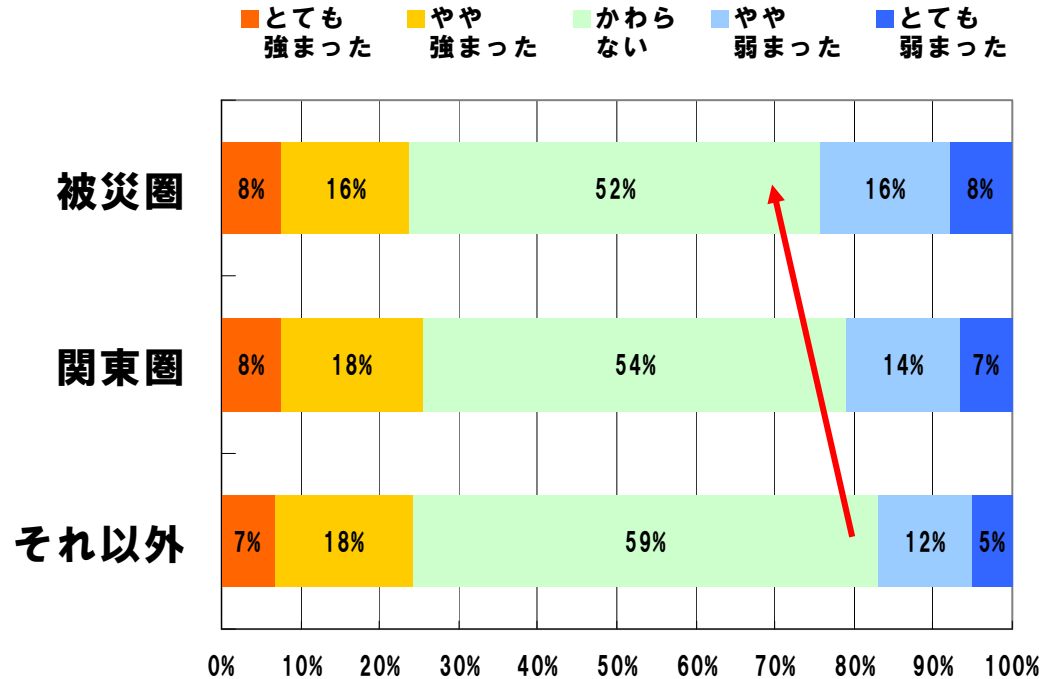
20代女	広島県	大手メーカーの乳製品は混ぜ物が入っている(全国の牛乳が混ざってる)ので、地元メーカーなど、全国にはないメーカーの乳製品を買うように。
20代男	奈良県	体内被曝した牛から捕れる牛乳にはセシウムが入っている。
30代女	愛知県	放射能の被害が広がってきているのではないか
30代男	大阪府	震災後に牛の餌が循環的に放射能を含んでいる可能性を耳にしました。
40代女	山口県	牛乳の廃棄が続いている
40代男	大阪府	福島周辺の牛肉問題の心配
50代女	山梨県	加工されて出回ってしまうのが怖い
50代男	鹿児島県	風によって飛散し、降り注いだ放射性物質に汚染された稲わらを飼料として与えられた肉用牛の肉が汚染されていると云う報道があったが、汚染地帯(特に福島県とその近県)で牧場をやっている人達の牧場の牧草(当然放射性物質に汚染されていると思われる)や同じ稲わらを乳牛も与えられていると云う不安が有る。
60代女	京都府	乳牛の飼料が放射能で汚染されているらしいから、産地を確かめないといけない。
60代男	鹿児島県	乳牛の飼料や飲み水の流通ルートの不明朗さがあるので、影響を受けてないと断言ができない。

情報源によって内容が大きく変わることはなく。以下のものが代表的。

- 放射能被害は今も拡大中
（原発事故現場から離れたホットスポットの発見）
- 他の食品などからの放射性物質の検知
（牛肉から出ているなら、牛乳からもという意識）
- エサから牛乳までに放射能が濃くなるという考え方
- 武田教授のブログの内容
- 危険地域のものを混ぜている疑惑
（特に大手メーカー商品）
- 危険地域の牛乳を移動している・産地偽装疑惑
（高速でのトラック事故エピソード）
- 大手乳業メーカーの姿勢への不信
（東京電力的なヒールイメージ）
- 安全とする基準値が高すぎる（ドイツと比較）
- チェルノブイリの時のなし
- 政府が嘘をついている。情報を隠している

牛乳の放射能被害に関する風評意識の変化シェア

現在のあなたの、牛乳に関する、放射能や放射性物質による「よくない影響」の意識は、数ヶ月前に比べて強まっていますか、弱まっていますか。



牛乳の風評に関する意識が強まった人の割合は、エリアによって大きく変わらない。その一方で、意識が弱まった人の割合は、「被災圏＞関東圏＞それ以外」となっていて、原発事故の現場に近いエリアほど弱まる率が高くなっている。

意識が強まった人の理由(被災圏)

10代女	福島県	県外産の牛乳と表示して売られているものでも、実際には福島県の牛乳を混ぜて売っているメーカーもあるという情報を知ったため。
10代女	茨城県	放射能を取り込むことによって内部被曝を起こすのがとても怖い。ガンとかになりたくない。将来子供を産みたいと思っているので奇形とか障害を持った子供とかが生まれてしまったらと思うと不安。
20代女	茨城県	はっきりした情報がでないから、あまりよい傾向でないと思う
20代女	宮城県	子供の体に残りやすいこと、成長段階にある子供がもっとも影響を受けやすいということを知ったから
20代男	福島県	牛乳は学校では当たり前のように出て、平日子供たちは毎日飲んでるから、放射線が出ているなら相当怖く感じるから。
20代男	岩手県	牛乳製造メーカーのほとんどが独自検査をしておらず、福島県産原料を使用しているものも流通していることと、市販の牛乳から高い濃度の放射線が検出されたという情報を聞き、これから先の人生のことを考えるとあまり飲みたくないと思ったから。
30代女	福島県	福島県産のものは一切子どもには与えたくない
30代女	岩手県	日本国内安全な場所はない
30代男	福島県	避難区域に近いので。うんざりだよ。
30代男	福島県	子どもが飲んでいるため。
40代女	岩手県	流通に詳しい人が居て、その人がネットで詳細を発表しているから。
40代女	宮城県	福島原発事故の正確な情報・今後の注意事項などが伝わらないので
40代男	宮城県	曖昧な安全宣言でなく情報を公開して欲しい
40代男	宮城県	本当のことが知りたい。日本政府や東京電力は何かを隠している。
50代女	茨城県	政府は信用できない。本当の情報を伝えていない。
50代女	福島県	地元なのであまり考えないようにしているが、孫とかにはやはりきちんとしたものを食べさせたい
50代男	福島県	情報が多すぎて、今後が不安。
50代男	宮城県	福島産の牛乳は買うのをやめた。
60代女	宮城県	健康被害をできるだけ少なくしたい。
60代女	福島県	世界的な迷惑
60代男	茨城県	汚染牛乳飲みたくない僕より生殖期成長期に有る人々飲ませたくない
60代男	茨城県	土壌の汚染がされているため、将来が心配です

子育て意識／政府やメーカーへの不信感／悪い噂と情報開示への不満

意識が強まった人の理由(関東圏)

10代女	東京都	食肉からも放射性物質の検出の不安が高まる中、乳牛も例外ではないと感じるから
10代男	東京都	政府の報道がいいかげん
20代女	埼玉県	国がまったく対策もされず、それぞれが自主的に検査して安全レベルをしているだけまったく検査せず、紛れているものもある。そんな状態で安心して飲めるわけがない。暫定基準値も高すぎ アホか
20代女	神奈川県	〇〇の牛は汚染されている、肉も汚染されているのだから牛乳も汚染されていると思う。九州の牛乳が一番安全。
20代男	神奈川県	濃縮が始まっているから
20代男	埼玉県	ニュースが出るたびに江戸川の水や千葉のシーベルトが高いことが判明していくので、関東全体終わった気がする
30代女	千葉県	原発に近い遠いは関係ないのだと、放射能測定数値を見て思った。国も、真実を言っているのか疑心を抱かざるを得ない状況が続いていたので、自分達の身は自分達で守らなと、と感じた。
30代女	東京都	原発の近く以外にも、ホットスポットなど、首都圏でも放射線量の高い場所が見つかったりしているため。
30代男	群馬県	重要な情報は後から出て来る傾向なので、自己防衛するしかないと思っています。後から「やっぱり危険でした」と言われかねないので。
30代男	東京都	環境評論家の武田邦彦教授がブログで牛乳について述べていてあゝ今は牛乳はあぶない・気を付けなといけない。できることなら摂取を控えたほうがいいのだろうと感じています。
40代女	千葉県	福島瓦礫を全国にばら撒いたり、福島の家畜を別の地域で引き取ったりしているので、国産のものはすべて信じられなくなつた。
40代女	埼玉県	テレビをつけると頻繁に放射能の話題をやっています。最近では、狭山茶などの身近なものの汚染が心配されます。
40代男	神奈川県	汚染されたりのごらしの草を食べている牛からでる牛乳は野菜のように洗い流して落ちるものではないので、まともに摂取してしまう。東北の農家関連の放射能検査は改ざんされている可能性が高いから買うのをやめる
40代男	東京都	最近、周りよりも放射線濃度の高い、ホットスポットの存在が良く報道されており、これが牧場にも無いとは限らないから。
50代女	神奈川県	原発事故直後には報道されていなかった放射能の影響を受けている食品の報道が今頃になり報道されるようになったり、福島原発から100キロ以上離れた土地のものでも放射能の数値が高いものが発表されているので
50代女	東京都	牛乳でも野菜でも、全製品を検査しているわけではない。原発から離れた地域でもホットスポットがあるわけだから、農産物や、牧草を食べている牛の肉や乳に、意外なところで影響がでることは十分考えられる。日本は、そういう国になってしまったのだ。
50代男	東京都	前問の回答と重複しますが、牛乳からそして牛肉からでてもう心配ありませんと、言われても今までの対応の仕方そしてつぎつぎと出てくる事実、被害者の方には申しわけないが、私としては、自衛するしかない。
50代男	神奈川県	放射能汚染地域が拡大している。放射能濃度が高いホットスポットが300km圏以上まで数多く点在している
60代女	群馬県	乳牛を殺処分したことを、余り聞かないから。ミルクの検査を、しているのかどうかもあまり聞かない。だが、神経質になるのも、よくない。食べないわけには、いかないが、どうしたものか。
60代女	東京都	これから将来がある孫達が飲むから心配です
60代男	埼玉県	原発からかなり離れたところでもセシウム以外の高濃度放射性物質が検出されているので、安全圏の定義が崩れ不安が増大している。
60代男	東京都	乳牛がどこで育てて何を食べているのか分からないので不安。また検査して合格といわれてもあまりあてにならない。今まで新聞やテレビは嘘の情報を流し続けているので怖い。

被災圏の理由に加えて、放射能被害拡大の意識（ホットスポットの発見）

意識が強まった人の理由(それ以外)

10代女	大阪府	酪農家の方たちがきちんと処分できるように政府が生活や処分方法の保証をしない限り偽装などの問題も出ている筈だ。
10代男	青森県	福島原発関連の情報が最近報道されなくなってきたため。その土地に何百年と住めなくなるという重大な問題のため、それが報道されないことに疑問を抱いている。
20代女	京都府	政府やメディアの言うことの信憑性が日に日になくなっているの、自分の身は自分で守るしかないと思うから
20代女	岡山県	TV報道に対してネット上の情報はわりとシビアなものが多く、危機感を煽られます。
20代男	愛知県	大学で放射能について研究していた同僚から、放射能漏れについて「なぜみんなこんなに大人しいのか判らない。もっと騒ぐべきだ。そのくらい今回の放射能漏れは危険。」と言われたため。
20代男	兵庫県	汚染が蓄積されているから
30代女	滋賀県	いろんな産地の生乳を混ぜているというのは、メーカーに問い合わせた人の話がたくさん出ていたので、大手のメーカーの牛乳や乳製品は安心して買えないと思ったから
30代女	秋田県	秋になって、東京でもかなり高い濃度のセシウムが大気中で検出されているので、より北の地方はいっそう危険だと思うようになったので」
30代男	岐阜県	あちらこちらで高濃度放射能が検出されているし、牛乳は濃縮されるから
30代男	京都府	結構、リアルな話で保険会社の社員からの情報とのこと。
40代女	愛知県	チェリノバイリの事故の5年後に、オランダに2年間住むことになった。事故後5年たっても現地では乳製品を敬遠する人がいた。まさか数十年後、日本で自分がその情報をもとに、牛乳を避ける日がくるとは思いもよらなかった。
40代女	北海道	色々な土地で容量を超えた数値が出てきているから。処理も進んでいる話が聞こえてこない
40代男	静岡県	ホットスポットの話が多くなった
40代男	岐阜県	ブレンドして売れば基準値内に収まるという、良い物売るという考えから、引っかけられない物売るという意識に呆れ。こういう意識なら病原菌や狂牛病、味や鮮度もそういう考えで売ってるのだろう。
50代女	静岡県	影響がないとされていた伊豆のシイタケ栽培でも過度の影響があったので、日本国土の半分以上はかなり汚染されていると思うので。
50代女	山口県	原発近くの牛乳を西日本に運んで放射性物質を薄めていることを未だに発表していないことが不安でなりません・
50代男	鳥取県	地域全体に広がっている
50代男	北海道	汚染の拡大を危惧している
60代女	京都府	放射性物質を摂取すると甲状腺癌になるから。
60代女	愛知県	親戚が被爆地帯におり、日々情報を入手している
60代男	愛媛県	メディアの情報は信用できないので、自分で情報を集めて対応している。
60代男	長野県	意外と遠くまで放射能が飛散しているの

被災圏の理由に加えて、放射能被害拡大の意識（ホットスポットの発見）

意識が弱まった人の理由(被災圏)

10代女	福島県	もともとあまり気にしていなかったが、最近は報道も少なくなったため以前よりも意識は低くなったように思う。
10代男	宮城県	あんまり気にしすぎてもストレスになるから結局はどこ地域でもベクレルは検出されると思うから
20代女	福島県	いまは放射能も落ち着いてきていると思うし、自分自身も前より過敏でなくなった。
20代女	茨城県	追いかけていたら、疲れたから。
20代男	宮城県	気にしても仕方がない
20代男	福島県	放射能などの基準値を上回っているわけではないから
30代女	宮城県	福島が隣県の為、あまり気にしすぎると生きるのが辛いから
30代女	福島県	酪農家にしても農家にしても、放射性物質の検出に関してとても過敏になっているし、実際、自分の家でも米農家で、野菜農家であり、出荷する前に、農林事務所でも検査してもらった結果を確認してから出荷するようにしている。自分の家がそうであるように、仮になんらかの放射性物質が検出されたことを秘密にして出荷しても、それが完全に隠しきれないとは思わないし、むしろ明らかになった場合の自分たちの立場や、同業者への迷惑のことを考えると、今、出荷している人たちはとても厳密に数値に関して、放射性物質に関して正直に対応していると思う。だから、今現在出荷されているものについては、信じたいという気持ちもあるからかもしれないけれど、大丈夫だと思っている。
30代男	宮城県	TVのニュースで騒がれていることがあるが販売店などを信用してほとんど気にしない。
30代男	茨城県	いい加減な情報ばかりだと分かった
40代女	福島県	完全に安全かはわからないし不安は全く無いわけではないがそんな事ばかり言って気にしていたら何も食べる事が出来ないと思うから
40代女	宮城県	以前はネット上で不安だと騒ぐ人の言葉を鵜呑みにしてたこともあったが、放射線に対する知識が増え、それを夫婦で話合っって自分達がどの方向に進むか明確になってきたので、不安が解消され、検査結果なども踏まえた上で心配も解消されてきた。
40代男	茨城県	気にしてもしょうが無いとあきらめた気持ちだから
40代男	岩手県	周りの人たちが気にしすぎる
50代女	茨城県	検査が厳しく行われるようになったこと。一度検出されると、その地区全体の酪農家が出荷停止となり、その後は3回の検査で、全酪農家がパスしないと出荷できないようになっていたと聞いた。
50代女	宮城県	検査してるだろうから大丈夫だと思う
50代男	茨城県	気にはなるが、あの政府や東京電力には、何も期待できないので、心配しても仕方がないというあきらめが大きくなった。
50代男	宮城県	店頭に品数も多く陳列されていて不安にならない。話題として新聞等にでてこない。
60代女	茨城県	確実な出荷検査が実施され、その結果も開示されているので
60代女	福島県	福島第一原発事故直後は汚染牛乳は廃棄されている。汚染がひどい地域からは出荷されていない。牛乳製造業者もきちり対応していると思う
60代男	茨城県	放射能を測る機器が不足していて、測っていない農産物、肉、魚が、出回っているような気がして心配していたが、今は、機器も大分出回ってきて、よく測っているの、少し安心している。
60代男	福島県	真実を知れば恐怖感はない

検査体制への信頼（具体的な対策作業の情報）／報道の沈静化／知識の成熟

意識が弱まった人の理由(関東圏)

10代女	東京都	震災当時は、恐怖の気持ちが大きくなっていましたが、時間が経つと恐怖も薄れてきてあまり放射性物質のことは考えなくなってきているから。風評被害で苦しむ農家に対し応援したい気持ちがあるので、買い控えはしていない。
10代男	神奈川県	あきた
20代女	神奈川県	数ヶ月前から新たな基準越えのニュースを聞かないから
20代女	埼玉県	特に気にしないので。ガン発生率は、放射性物質よりタバコの方が全然高いのでは？と思っているから。
20代男	東京都	マスコミが煽っているというのがよくわかったから。
20代男	埼玉県	当初は周りがみんな気にしていたため自分も気になっていたが、最近は除染作業も進んでいて放射能汚染は少なくなっているように感じる。また、いつまで気にしていてもなくなるわけではないので、気にしていても無駄という気持ちになってきた。
30代女	千葉県	影響の無いものが出回っていると感じるから
30代女	東京都	特に前から気にしてはいませんでした。少し過敏になり過ぎになっている方が多いとは思いますが。
30代男	神奈川県	そのようなニュースや話題を聞かなくなったので
30代男	群馬県	時間経過したため
40代女	神奈川県	ネットや週刊誌などで専門家の意見を見聞きし、自分なりに調べてみると、そう神経質にならなくても良いのではないかと思うようになった。自然界や病院での治療でも放射性物質は存在するし、体に悪い事(特に発ガン性のあるもの)は他にも身近に沢山存在する。タバコの副流煙や添加物など。かと言って全く不安が無いとも言いきれないが、そう簡単に移住する訳にも行かず、半ば諦めの境地。
40代女	栃木県	テレビなどでも聞かなく、大丈夫！の意識
40代男	東京都	放射能の拡散が収まりつつあるから。
40代男	埼玉県	周りで話題として出てこなくなったから。
50代女	神奈川県	n h kの番組などで全国の一般家庭で1週間の食事の放射線量を測定した結果、市場で出回っているものは安心できる結果だったので
50代女	東京都	チェルノブイリの子供たちは、汚染された牛乳を飲み続けて甲状腺がんになったという報道があつて、数ヶ月間は東北や関東の牛乳を買わないようにしていた。現在は測定をしているので、それほど心配はしていない。
50代男	千葉県	福島の子原子力発電所の冷温停止も収束に向かっており、放出される放射線量も減少している。牛乳の生産者や加工業者や消費者も放射能測定や軽減作の情報が充足されて知識も増えて、全体的に震災直後よりも良い方向に向かっていると思う。
50代男	東京都	自然界には普通に放射性物質は存在するし宇宙からも降り注いでいる、健康意識の高まりや厚労省のメタボ対策の所為で健診は煩く言われるがレントゲンやCT等の受信でも被曝する。従って原発事故と放出された核物質を軽視するわけではないが今の騒動は多分にヒステリックなところがあるように思われるから
60代女	栃木県	放射能汚染の餌は廃棄されて牛が危険なものを食べる度合いは減っているとのことなので。
60代女	東京都	放射能の影響が30年後に出ても私たちの世代はほとんど影響はないかなと思う
60代男	群馬県	放射能について、分かってくるにつれ余計な心配が、なくなってきました。疑問に答えるところが、あれば、余計な心配は、なくなると思います。
60代男	東京都	人の噂も75日ということでは忘れていく。

報道の沈静化／知識の成熟／検査体制への信頼（ややイメージ）

意識が弱まった人の理由(それ以外)

10代女	青森県	あまりニュースでも人からも情報が入らなくなったから
10代男	秋田県	時間がたつたので意識しなくなった。
20代女	京都府	最初は意識していたけど、自然と薄れていった
20代女	静岡県	学生実験で使う化学薬品のほうが放射能を多く出しているという話を聞いてからほとんど気にも留めず、ごくごく飲んでおります。それに、いつかは半減期を迎え続けて消えていくわけですから、そこまで気にしたって仕方ないと思っております。
20代男	熊本県	牛乳に関するニュースを聴かなくなったため。
20代男	鹿児島県	みんながその問題に対して取り組んでいるのが目に見て分かるから。
30代女	大阪府	今はあまりニュースでは聞かない。
30代女	福岡県	最初は放射能に対する知識があまりなかったので、やたらと反応していたが、よくよく知ると、放射能は日常にも身近に浴びているものでもあるので、過敏になりすぎるのもよくないと思い始めたから。
30代男	愛知県	みんな騒ぎすぎ
30代男	奈良県	報道が少なくなったのが影響していると思う
40代女	岐阜県	テレビなどの情報から心配に感じたけれど、実際には自分の住んでいる地域ではあまり意識がなく皆ずんでいるので。
40代女	大分県	以前ほど報道がないのでわからないが、意識は薄れていると思う。
40代男	山形県	検査がされている
40代男	香川県	遠く離れた香川県という土地のせいもあるとおもうし、ニュースでそうした情報が流れていないせいでもある。
50代女	富山県	今は放射能の検査は行われていると思うので安心してしています。
50代女	大阪府	市場に出回っている物は安全だと思うから
50代男	広島県	以前ほど、この話題を聞かなくなった
50代男	新潟県	市場に出回っている農産物は十分検査がされていると思うから。
60代女	三重県	放射能に関する情報が少なくなったから
60代女	兵庫県	牛乳などは、しっかり検査されていると思うのでさほど気にしていない。原発の問題にかかわらず、世界で色々実験などしているので、その雨なども影響がないとはいえず、自然界にもある物質なのでしかたがない。
60代男	大阪府	日常的な報道に関して、月日の経過と共に注意心が薄れていく
60代男	長崎県	市販されている商品は安心できるものとして考えている確かに放射能汚染には確かに気になることだが少し神経質になる過ぎている気もする

報道の沈静化／知識の成熟／検査体制への信頼（ややイメージ）

まとめ／影響が強まった人と弱まった人の理由

	意識が強まっている人の理由	意識が弱まっている人の理由
被災圏	子育て意識／政府やメーカーへの不信感／悪い噂と情報開示への不満	検査体制への信頼（ 具体的な対策作業の情報 ）／報道の沈静化／知識の成熟
関東圏＋それ以外	被災圏の理由に加えて、放射能被害拡大の意識（ ホットスポットの発見 ）	報道の沈静化／知識の成熟／検査体制への信頼（ややイメージ）

被災圏から離れるほど牛乳の放射能被害の意識は広まりをみせている様子（その一方で、被災圏は意識が弱まる人が多くなっている）

全体的な方針ではなく、個人レベルの、より具体的な検査のエピソードが広く伝わることで放射能に関する風評被害を食い止める上で効果が期待できる。